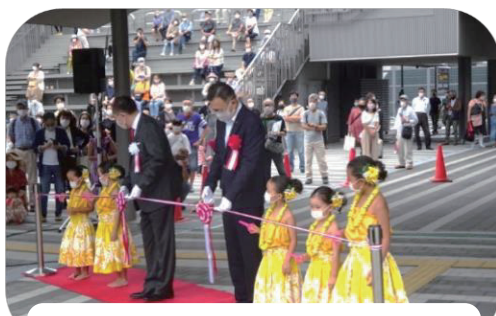


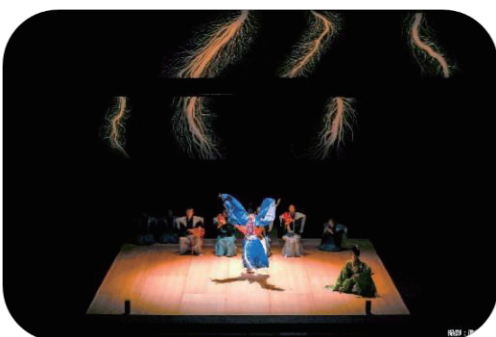
市民待望の待ちに待ったホールの
オープンです。

60年以上前に市民会館建設に動いた先人達の思い、市民会館の歴史という襷が、三の丸ホールに引き継がれました。ホールはまだ産声をあげたに過ぎません。これから、様々な文化・芸術活動が行われ、さらには観光や交流、情報発信の拠点として未長く愛される空間に育って欲しいと思います。

三の丸ホール開館！



アオラニフラスタジオの子ども達と一緒にテープカット



この式典は狂言師の野村萬斎氏出演、小田原ふるさと大使で現代美術作家である杉本博司氏企画・舞台構成の三番叟(さんばそう)「神秘域(かみひそみいき)」で幕を開けました。ホールのこけら落としに相応しい演出で一同舞台に引き込まれていました。



私が主催者挨拶として、三鱗の家紋の入った羽織袴で口上を述べました。事前のリハーサルで野村萬斎氏から所作に関する直接の

指導を頂きましたので、大変緊張しましたが、無事に役目を果たすことができました。来賓の大川市議会議長の言葉にあったように、ホールは道具であり、この道具が手に馴染んで、道具の本来の性能が発揮されるように、誠心誠意、施設運営に努めてまいります。

開館記念式典



コロナ禍での開催に対する様々な声もありましたが、入場者数も定員の概ね3分の1、時間も1時間程度に短縮して、感染防止対策を講じて行いました。幾多の困難を乗り越えて、今日に至るまでご支援、ご協力いただいた市民の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。市民の皆様と、この喜びを分かち合いたいと思います。



LINE
公式アカウント



活動の詳細は
どちらからも
ご覧いただけます
日々更新中！



フェイスブック

守屋てるひこ市政活動報告

2021年10月号

守屋てるひこ便り Vol.6



編集発行：守屋てるひこ事務所

小田原市荻窪 317-1 イセトヨビル 2階

電話 43-9918 FAX43-9917

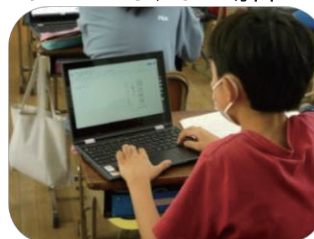
本県を含む27都道府県に出されていた「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」は、9月30日(木)をもって解除される運びとなりました。本市においても8月には新規感染者が急増する局面がありましたが、最近では新規感染者数が0となる日もあるように、状況は落ち着いてまいりました。これまでご協力をいただいた市民、事業者、医療従事者の皆さんにあらためて感謝申し上げます。これから、私たちは社会経済活動の回復と引き続きの感染防止対策、この両輪を回していかななくてはなりません。本市の市有施設については、開館時間を午後8時までとしていましたが、午後9時までとします。そして、感染防止対策に大きく貢献するワクチン接種につきまして、9月27日現在で12歳以上の対象年齢に対する接種割合は、1回目が67.35%、2回目が53.11%となっています。このまま推移すれば、11月中には、希望する方の接種を終える見込です。一時期、予約が取りづらい時期もありましたが、少しずつ予約が取りやすくなってきていますので、ワクチン接種を終えていない方はぜひ接種をお願いします。また、国において3回目の接種を行うという方針が出されたので、本市においてもその準備を始めたところです。詳細については、あらためてお伝えさせていただきます。これからインフルエンザの流行も懸念される時期になりますので、こちらの予防接種もできるだけ受けていただきますようお願いいたします。緊急事態宣言は解除となりましたが、引き続きの感染防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

(9月30日付)

【活動報告ダイジェスト】

小田原医師会、小田原歯科医師会、小田原薬剤師会の先生方とコロナワクチン接種に関する調整を行いました。目下の感染拡大を防ぐためにも、コロナワクチンの接種を推進する重要性はすべての方が認識しており、状況に応じて、引き続き連携してまいります。ワクチン供給や日常診療とのバランスなど、限られた体制や様々な制約の中で、最大限のご尽力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

(8月18日付)



(8月25日付)

生徒は給食を食べてからの下校となります。食事時の感染リスクを懸念される方がおられますので、給食を取らずに下校することも可能とし、その分の給食費は減免されるということです。教育委員会が、教育現場や保護者とも意見交換し、それぞれの状況を十分に考慮した上で導き出された結論だと思います。これを実現できたのも、教育環境のデジタル化を進めてきたからこそです。まだまだ試行錯誤が続くと思いますが、積極的にチャレンジしてもらいたいと思います。